



伊豆市

議会だより

No.71

2022.2.1発行

発行:伊豆市議会 <http://www.city.izu.shizuoka.jp>

編集:議会広報委員会

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2

TEL 0558-72-9906



2021土肥桜祭りフォトコンテスト
支部長賞(最優秀賞)作品

目次

■ 新春のごあいさつ(議長)	2
■ 令和3年12月定例会 概要	3
■ 市政を問う～一般質問～	7
■ 令和4年3月定例会のお知らせ	10



議会ホームページへ

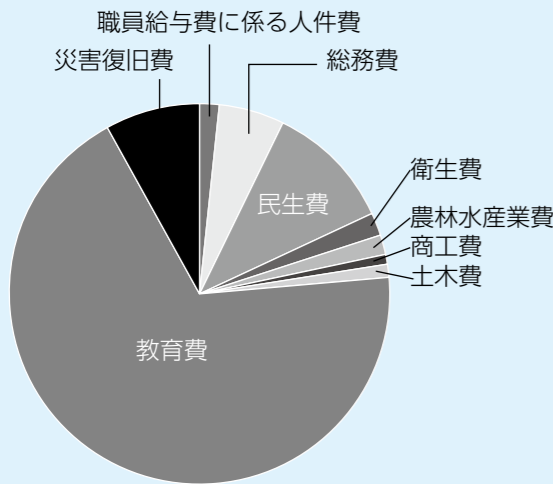
令和3年伊豆市議会 12月定例会

主な議案

- ・一般会計の増額補正
- ・伊豆市犯罪被害者等支援条例の制定
- ・萬城の滝キャンプ場が指定管理者運営に移行

会期：令和3年11月26日(金)
 ～令和3年12月17日(金) 22日間
 会場：伊豆市役所本庁2階 議場
 議案：13件(うち予算6件・条例4件・その他3件)
 本会議：5日間
 委員会：2日間

補正予算(歳出)



◆一般会計補正予算(第8回)

主な増額は教育費、民生費、災害復旧費、総務費

- ・教育費：学校における通信環境改善のためのネットワーク整備/新中学校造成工事
- ・民生費：障害福祉サービスの利用者増加に伴う給付費の増額
- ・災害復旧費：豪雨災害に伴う農地、農業用施設及び市道の復旧工事
- ・総務費：バス路線維持事業補助金の前年度精算分

12月定例会で審議した議案と結果(予算)

議案内容	審議結果	備考
専決処分の報告及びその承認について(令和3年度伊豆市一般会計補正予算(第6回))	全会一致	報告承認
令和3年度伊豆市一般会計補正予算(第7回)	全会一致	可決
令和3年度伊豆市一般会計補正予算(第8回)	全会一致	可決
令和3年度伊豆市一般会計補正予算(第9回)	全会一致	可決
令和3年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)	全会一致	可決
令和3年度伊豆市簡易水道事業会計補正予算(第1回)	全会一致	可決

12月定例会の補正予算では、補正額7億5640万円を増額し、歳入歳出総額を240億2190万円とすることを可決しました。この補正の内容は、新中学校整備事業や災害復旧事業など年度内完了が困難な事業について繰越明許費を設定するほか、修善寺自然公園などの観光施設や狩野川記念公園などの運動施設の指定管理料及び外国語指導助手の業務委託の債務負担行為の追加、災害復旧事業に係る地方債の追加、新中学校整備事業などに係る地方債の限度額の変更などです。

また、国で行う10万円の子育て世帯への臨時特別給付金について、まず迅速に5万円を支給するための補正予算が追加され、更に残り5万円を合わせた10万円を年内に一括して現金支給するための補正予算が追加されました。

新春のいあいまつり



いあい



伊豆市議会議員 小長谷 順二

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

依然として世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症について伊豆市では、8月20日をピーク

クに10月7日以降、11月・12月の感染者はありませんでした。この原稿を書いている12月6日の全国の感染者数は60名と減少していますが、新たな変異ウイルス「オミクロン株」による第6波の可能性も懸念される状況であり、さらなる対策が必要です。

観光産業を生業とする伊豆市では、コロナ禍で観光客の激減や緊急事態宣言中の営業自粛など、大きな経済的打撃を受けています。国や県の施策のすき間を埋める伊豆市独自の経済対策が求められています。

異例づくめとなった東京オリンピック大会の自転車競技で日本人メダリストが誕生したのは伊豆会場だけでしたので、大会関係者は大いに盛り上がりました。今後の自転車まちづくりのレガシー構築には「サイクリスト」「一般市民」そして「観光客」をどのように取り

り込んでいくことができるのか、自転車を活用した地域内経済の向上を図るには長期的視点で将来へ継承していくことがカギになると思っています。

また、コロナ禍でテレワークが広く定着した結果、地域などで余暇を楽しみつつ仕事を行うワーケーションへの企業・地域の注目が高まっています。テレワーク・ワーケーションに関するノウハウや課題を企業と自治体が共有する意見交換会の定期開催などをおこない、地域経済への活路を見いだす大きなチャンスにしていくべきだと考えております。

伊豆市議会では議会改革推進のために、本年2月より「議会モニター制度」を導入し、市民にわかりやすい議会、開かれた議会を目指してまいります。いただいた多くの意見に対し議員間の議論を深



め、二元代表制の一翼を担う責任ある意思決定機関として、伊豆市の発展の為に力を尽くしてまいります。

今年の干支は寅年です。寅年は成長、発育、春の象徴であり、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると言われています。

本年が皆様にとって良い年でありますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶と致します。

補正予算についての 質疑・討論

委員会質疑

総務経済委員会

問 繰越明許費の農林水産業施設災害復旧費について、豪雨災害で被災された当事者は一刻でも早く修復したい思いだと推察するが、そのためにはどのような協議をしているのか。

答 農地の場合は、災害査定によって金額を決定し、発注、完成となりますが、最初にいつ頃までに復旧出来るかその目安を確認します。12月議会で補正いただき、翌年の稲作に支障がないように3月までに復旧工事を完了するように努めています。

問 バス路線維持事業について、地域公共交通会議において、自主運行バスの乗客を増やす取り組みや新規事業者が参入してくる可能性などの議論はされているのか。

答 公共交通を利用するように各種補助制度や広報活動を進めているが、思うように結果に結びついていない状況です。また、新たなバス運行事業者の参入につきましては、

12月定例会で審議した議案と結果（条例）		
①伊豆市犯罪被害者等支援条例の制定について	全会一致	可決
②伊豆市農村公園条例の一部改正について	全会一致	可決
③伊豆市萬城の滝キャンプ場条例の一部改正について	全会一致	可決
④伊豆市国民健康保険条例の一部改正について	全会一致	可決

【制定・改正理由】

- ①犯罪被害を受けた方を支援するための支援体制等を明確にするため、支援に係る事項を条例化する。
- ②大野区会に大野農村公園を譲渡するため、当該施設を行政財産から普通財産にする。
- ③萬城の滝キャンプ場について、市の管理運営から指定管理者制度に移行する。
- ④産科医療保障制度の見直しを踏まえ、出産育児一時金の支給額を見直す。

今回も県で公募したが応募はなく、路線バスの免許がないと対象の事業者にならないので、現状の2社を対象として検討しました。

教育厚生委員会

問 GIGAスクール推進事業、校内通信ネットワーク環境整備業務委託料について、ネットワーク通信の具体的な整備内容について説明してほしい。

答 1人1台端末については、令和2年度末に全部の学校に配備し、環境も整備しました。当面の授業は、市役所で運用している光回線の地域公共ネットワークで通信量が足りる想定でしたが、先生や児童生徒が慣れてきて、2学期頃から使用頻度が増えてきたところ、通信が止まるなど繋がりにくい状況となり、学校から相談を受けるようになりました。

仕組みとしては、地域公共ネットワークから切り離し、学校ごとに光回線を引き込むイメージです。ただし、先生方が別に使用している校務支援ネットワークが地域公共ネットワークにも繋がっていることから、ウイルス対策装置を入れなければならず、その部分に費用がかかります。

問 新中学校造成工事について、建設資材の高騰や資材調達の影響

条例についての 質疑・討論

委員会質疑

総務経済委員会

問 犯罪被害者等支援条例の制定について、犯罪被害者に関する個人情報取扱いについては十分に配慮しなければならぬと謳っているが、これからの課題として本人あるいは家族からの申請について公にしないよう守秘義務が保たれる形で進められていくのか。

答 犯罪被害者のプライバシー保護には十分配慮して受付相談窓口業務を進めていきます。

問 農村公園条例の一部改正について、無償譲渡にする理由は何か。

答 地域コミュニティの拠点として公民館建設を予定しており、極めて公益性の高い利用であり、行政財産を普通財産とすることにより今後も公共的な用途の利用条件などを付けて無償譲渡します。

問 萬城の滝キャンプ場条例の一部改正について、萬城の滝を含む八岳地区はワサビの名産地であり、地域の皆さんはあまり多くのお客

等を回避するため工事を前倒すとのことだが、造成工事の実設計は終わっているか。また、地盤の高低差はどの様になっているか。

答 実施設計は終了し、入札準備をしています。高低差は、修善寺東子ども園前から田んぼに入る道のところを段差のないレベル0とすると、東側の県道側は地面を切って掘り下げ、掘り下げた土は南側のグラウンドに使います。校舎と体育館の屋根は、加殿の交差点から遠藤橋までの道路沿いに平らに見えますが、体育館の床は下がって、中の高さを確保するイメージになります。盛り土をしたグラウンドの所にはテニスコートができ調整池となりますが、その部分を作ってから造成を行っていくこととなります。

討論

〔賛成討論〕

○令和3年度伊豆市一般会計補正予算（第8回）

（波多野靖明 議員）
この予算案のGIGAスクール推進事業費の内容は、市内小中学校のパソコン等を使ったICT教育を行う上で、現在の伊豆市公共ネットワークでは通信容量不足が発生していることから、民間のインターネット回線に繋がります。そして、

さんが来ると困るような話もあるが、地域との話し合いはどのようにされているか。

答 そのような懸念からワサビの水の関係で排水なども気にされる場所であり、昨年からの地元の方々と打合せを繰り返して、その不安を事業者からご回答いただき指定管理にすることに納得されている状況です。

討論

〔賛成討論〕

○伊豆市犯罪被害者等支援条例の制定について

（三田忠男 議員）
国は、被害者及びその家族又は遺族の権利利益の保護を図ることを目的に平成16年犯罪被害者等基本法を制定。県も、平成27年4月1日施行の条例を制定した。基本法で、「地域の状況に応じた施策を制定し、及び実施する責務を有する。」とされた。犯罪被害は決して他人事ではなく、家族に、そして自身に遭うかもしれない。一次的な心身への被害のみならず、二次的な医療費負担や失職、転職などによる経済的な困窮、捜査や裁判等による精神的時間的負担、周囲のうわさ話やマスコミ取材報道による精神的被害等、様々な問題が発生する。被害の軽減や、

生徒や教員の使う機器等をコンピュータウイルス等の脅威から保護する措置が必要です。また、指定管理料の支出は、本来、市が直接運営をしていた場合、減収相当額を市が被ることになります。それと同様、指定管理者に対してコロナ禍においても、適切、且つ安定的な管理運営の継続を図って頂く為には減収相当額を補填するものと理解し、賛成討論を致します。

〔賛成討論〕

○令和3年度伊豆市一般会計補正予算（第9回）

（杉山誠 議員）
18歳以下の子どもに10万円相当の給付を行う「子育て世帯への臨時特別給付」について、国では当初、原則5万円の現金給付と、5万円相当のクーポンの2本立てとしていました。

しかし伊豆市内では子育て関連の商品を扱う店舗は限られており、クーポンでは有効に使われません。元々この給付金は、公明党が先の衆院選の選挙公約に掲げた社会全体で子育てを支援するための「未来応援給付」が基となっており、地域経済への波及効果が目的ではありません。

当市の10万円現金による一括給付は、地域の実情に応じた賢明な選択と評価します。

正しく理解し市民を支える体制を整備する本条例は伊豆市に絶対に必要です。

〔賛成討論〕

○伊豆市萬城の滝キャンプ場条例の一部改正について

（青木靖 議員）
現在、市が運営している萬城の滝キャンプ場を指定管理者による運営に移行するための条例の一部改正。内容は、使用料・利用料金に関する事、指定管理者による管理、指定管理者の事業報告について。萬城の滝キャンプ場の管理運営は、専門的ノウハウを持った民間事業者の参入が待たれる状態にあった。今回、具体的な事業者の存在があり、地元関係者と調整が進行中で、今後、この施設を民間に移譲することも視野に入れている。中伊豆町時代から地域住民が大切にされて来た想いを引継いで、萬城の滝を含む周辺地域が、豊かな自然を活かした憩いの場として長く愛されることを願う。



市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

12月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。(質問順)

その他

◆公の施設の指定管理者の指定について(狩野川記念公園/狩野ドーム・狩野グラウンド)

指定の期間が令和4年3月31日をもって満了する指定管理施設について、次のとおり指定管理者を指定するもの。

施設の名称	狩野川記念公園	狩野ドーム・狩野グラウンド
指定管理者となる団体	(株)サンアメニティ	NPO 法人 伊豆市スポーツ協会
指定の期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	令和4年4月1日～令和9年3月31日

※いずれも伊豆市指定管理者審査会に諮問し、「指定管理者の候補者として適格であると判断する。」との答申を受けている。

委員会質疑

教育厚生委員会

問 審査会評価調書については、指定管理者にも通知されているか。また、指摘事項は事業計画で改善されているか。

答 指定管理者は、評価委員会のヒアリングを受け現地にて質問も受けており、指摘事項もフィードバックしていること承知しています。これに基づいて事業改善や事業展開をしております。

問 狩野ドーム・狩野グラウンドの管理経費が令和2年度から大きく減少した理由は何か。

答 令和2年度は施設を閉めた期間があり、臨時職員には休んでもらい、賃金を工夫しながら管理経費を抑えてもらった経緯があります。

討論

〔賛成討論〕

○狩野川記念公園の指定管理者の指定について

(浅田 藤二 議員)
指定管理者制度は、民間事業者の蓄積された施設管理のノウハウ

質問 地元企業・事業者への支援



(波多野 靖明 議員)

コロナ禍での緊急事態宣言等の協力は、報道により、宿泊業・飲食店への支援を全面的に打ち出していますが、コロナによる業績の悪化は、それ以外の業種にもふりかかっています。長年、地域で根ざし仕事をされている方々は、伊豆市を支えている方々です。今後、市内の企業・事業者の方々への支援策はお考えでしょうか。

答 幅広い業種を対象とした施策の実施が必要です

産業部長 新型コロナウイルスという非常事態においては、市内経済状況を見定め、可能かつ必要とする支援策を講じてきました。今後はこれまでと違った角度で必要な振興策や支援策が生じてくると考えております。国の経済対策においては、業種を問わずあらゆる事業者への給付など幅広い支援が盛り込まれ、経済対策の新しいステージに入ろうとしています。市としても、国や県の施策と連携し、幅広い業種を対象とした施策の実施が必要であると考えております。

ウ、つまり行政にない企画・アイデアを活かすことで多様化する

住民ニーズに応え、魅力的な地域イベントなどの開催や自主事業の展開により利用者の満足度の向上につながる。また、施設管理における経費削減が大きな目標ととらえています。

行政が管理しているときには取り組めなかった職員常駐による施設管理ができており、清掃や軽微な施設の修繕がいきとどき管理経費の削減につながっていることがうかがえます。

これから遊具の新設が予定されていることもあり、市民の憩いの場としてさらに利用者の満足度が上がっていくと期待されます。

◆市道路線の廃止について

伊豆市新中学校建設地のなかを東西に横切る市道鹿群経塚線の市道認定を廃止するもの。

委員会質疑

総務経済委員会

問 普段この市道を利用している市民はいないか。また、中央付近に南北に走っている道路があるが、これも市道であるなら、廃止や変更はしないのか。

質問 次年度事業の要望について



(星谷 和馬 議員)

伊豆クラブは、次年度予算に対していくつもの提案、要望書を提出しました。その中から2点質問いたします。
①小規模宅地の造成
②積極的な企業誘致を

答 人と企業の呼び込みに積極的に取り組めます

総合政策部長

①拠点性の高いエリアを中心に、居住環境の整備を行っていきます。現在、公共施設跡地を活用した宅地分譲の検討を行っているほか、事業者にメリットのある仕組みを構築するなど民間事業者の開発誘導を進めます。

②企業誘致は、市内雇用者や税収の増加の観点から市が最も努力すべきことのひとつと考えます。

今後は、待ちの姿勢ではなく、積極的な意識を持って、企業誘致に取り組んでまいりたいと考えています。

12月定例会で審議した議案と結果 (その他議決事件)		
公の施設の指定管理者の指定について(狩野川記念公園)	全会一致	可決
公の施設の指定管理者の指定について(狩野ドーム・狩野グラウンド)	全会一致	可決
市道路線の廃止について	全会一致	可決

答 この用地に隣接している方や迂回に利用する方もいるかと思いますが、新中学校の説明会で廃止する了解を得ています。また、東西の市道につきましては廃止しますが、中央付近に残る南北の道路は区域変更、つまり地番を何地番というように区域を変えるという作業で市道が残ります。

問 この市道は近隣住民の散歩道になっているが、廃止になることの周知徹底はどのようにされるか。
答 一般的には、2か月は管理期間が設けられるので、その間に告知をします。

質問 予算編成時の市長の判断基準を問う!!



(三田 忠男 議員)

市長が予算編成時の政策決定をする際の、判断基準は何か、優先する事項はどの様なものか伺います。

その際、区長要望事項、各事業者団体・住民との意見交換等から得た要望・意見等の取り扱い、更に議会提案条例や決議等は、どのように取り入れていくのか伺います。来年度予算編成に関する重点課題を伺います。

答弁 全ての政策判断の基準は総合計画です

市長 まちづくりの取り組みを戦略的に作成した総合計画には、市が実施すべき施策を全て盛り込んでおり、重要度も含めて総合的に整理しています。

総合政策部長 地区等から出された意見や要望については優先度の高いものから採択することとし、安全性や緊急性などを考慮し判断しています。

令和4年度については、人口減少対策、財政運営の堅持、特定政策課題の解決を重点課題の三本柱として掲げ、予算編成に取り組んでいるところです。

産業部長 議員提案条例や決議等の位置付けにつきましては、地方自治法に基づき、議決を経て制定された厳格なものであると認識しています。

質問 生きいきと皆が暮らせるまちづくりについて



(間野 みどり 議員)

伊豆市の少子化・人口減少問題の打開策の一つとして、私は今ここに住む親達の姿勢、明るく元気で前向きにがんばる姿を子ども達に提示することも一つの方法だと考えています。その事と市政をうまくマッチさせ子ども達を育む手段として、高校生によるボランティア活動、中学生の職場体験等、今後どのように取り入れ展開していく予定ですか。

答弁 大人も子どもも誇りと活力に満ちたまちづくりを目指します

総合政策部長 職場体験の充実、人口減少対策や産業振興等の課題解決のため、非常に重要な取組であると考えておりますので、市内企業の受け入れ先の拡大を図り、市内産業や事業所を知ってもらう機会を増やしていければと考えています。

大人も子どもも、市民が伊豆市を素晴らしい故郷と自信を持って言えるような、誇りと活力に満ちたまちづくり、生き生きと仕事ができるまちづくりを、様々な取組を通じて、推進していきます。

質問 より良い教育環境整備と新中学校について



(下山 祥二 議員)

文教ガーデンシティ事業の否決により、本来なら昨年の4月に開校予定だった新中学校は5年も遅延してしまいました。当時から恵まれた教育環境ではなく現状の教育環境が大変危惧されております。昨年の12月議会では「伊豆市新中学校の着実な建設を求める決議」も採択されました。新中学校建設の進捗と最大のコンセプトについて質問します。

答弁 「居心地のいい学校」を目指し設計を進めています

市長 土肥小中二貫校との部活動の連携、また、学校活動においても、なるべく多くの選択肢を提供できる学校になればと期待しています。

教育長 新中学校開校のコンセプトは「居心地のいい学校」です。充実したICT環境、多様な学びができる教室や図書メディアセンター、友達や異学年と自然に関われる共有スペース、快適なトイレや居場所等を設けた魅力的な学校を目指して校舎設計を進めています。そして、市内各校が交流するハブ的な役割を果たすことも目指しています。さらに現在、保護者、地域及び学校の代表で組織する開校準備委員会では、制服や通学等について検討していただいています。

質問 高齢者のゴミ出し支援に取り組みませんか



(杉山 誠 議員)

高齢化や核家族化を背景として、ゴミ出しが困難でありながら支援を得られない高齢者の増加が問題になっています。

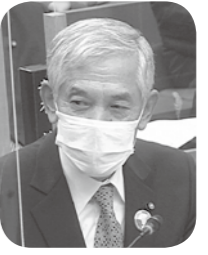
広い市域を有する当市では、ゴミの集積所まで遠い家も多くあります。高齢者のゴミ出し支援に取り組み必要があると思いがかがですか。

答弁 公的支援と住民支え合いの両輪で進めて参ります

健康福祉部長 ゴミ出しの課題は様々なケースがありますが、公的なサービスとして、地域包括支援センターが中心となり、介護サービスを活用やシルバー人材センターのサービス、社会福祉協議会のお互い様サービスなど、個々の状況に応じた支援により対応しております。

また、土肥地区におけるNPO法人の活動で、地域住民の有償ボランティアによる支援など、公的サービスと地域住民の支え合いの両輪により、地域に合った支援体制の構築を進めて参ります。

質問 共に支えあう地域福祉の推進



(飯田 大 議員)

伊豆市総合計画では、将来にわたり魅力あるまちとして発展し、元気で幸せに暮らすことができる環境を整え「持続可能なまち」を創造することあります。今日まで伊豆市を支えて来られた高齢者への福祉事業を進めるうえで交流の場が必要です。市内の「通いの場」の現状と支援機関の役割、事業を推進するための施策について伺います。

答弁 今後も実施・拡充されるよう支援して参ります

健康福祉部長 通いの場は、「ロコトレOB会」、「居場所」、「ふれあいサロン」、「通所型サービスB」などの活動があります。この活動に対し、市と社会福祉協議会は補助金の交付や講師の派遣などを、また、地域包括支援センターは会の立ち上げなどを連携して支援しています。通いの場は、単に運動機能の維持向上だけでなく、社会参加により社会的孤独の解消や認知症予防の効果も期待できます。今後も自主的な通いの場を、市民が主体となり実施・拡充されるよう支援して参ります。

伊豆市議会モニター始動

◆議会モニターとは・・・

市議会で行う会議を傍聴または視聴し、議会運営にかかわる様々な事について、住民の視点から意見をいただくものです。



11月から12月にかけてホームページなどで募集しておりました「伊豆市議会モニター」には、さまざまな方から応募をいただきました。定員10名以内で選考された伊豆市議会モニターの活動は、令和4年2月からスタートします。

モニターから提出されるご意見は、市民に分かりやすい議会運営を目指して活用させていただきます。

また、ご意見の中から採用された内容などは議会だよりにも掲載し、市民の皆様を紹介していく予定です。

議会広報委員が 変わりました

令和3年11月1日、議会広報委員会の構成が変わりました。

議会広報委員会では、議会だよりの編集やFMISによる定例会のお知らせ、その他議会活動の情報発信など、議会の広報にかかわる仕事を行っています。

1年間よろしくお願ひします。



会派の紹介

伊豆クラブの所属議員に新しく加入がありましたので掲載します。

○IZU未来

代表者 三田忠男

所属議員

杉山誠、青木靖、下山祥二、

間野みどり、波多野靖明、

小長谷順二、浅田藤二、

黒須淳美、飯田大、

鈴木優治

○伊豆クラブ

代表者 星谷和馬

所属議員

小川多美子(新)、永岡康司

○会派に属さない議員

杉山武司、鈴木正人

【会派とは】

市議会において政策、目的等を同じくし、調査研究、政策立案等を行うため、議員2人以上が所属して議長に届け出した団体をいう。

(伊豆市議会会派に関する規程第2条より)

議会傍聴・視聴について

本会議はどなたでも傍聴することができますが、現在は感染症対策のため傍聴席へ入る人数を制限しています。傍聴を希望される方が22名を超える場合は、別室で中継映像による傍聴となります。

本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。ぜひご覧ください。

【傍聴に関するお問合せ】

0558-7219906

(議会事務局)

3月定例会の予定

場所 本庁2階 議場

時間 午前9時30分

2月22日(火) 施政方針演説

3月2日(水) 議案質疑

14日(月) 一般質問

15日(火) 一般質問

16日(水) 一般質問

23日(水) 委員長報告

・討論・採決

※変更となる場合があります。ご了承ください。

3月定例会 委員会の予定

場所 本庁2階 委員会室

時間 午前9時30分

3月3日(木) 連合審査会

4日(金) 連合審査会

7日(月) 総務経済委員会

8日(火) 教育厚生委員会

編集後記

新型コロナウイルス感染症第6波、オミクロン株の拡大が報道されている。医療技術が進歩した現在、世界的なパンデミックとなっている。新興感染症に国の対策も時として迷走する中、伊豆市では3回目のワクチン接種のスケジュールが組まれた。

これまでのワクチン接種が順調に実施され好結果を得た事は行政担当者、医療従事者、市民との協働の賜物である。共に支えあう地域医療の推進に繋がる。

最善を尽くし、一時も早い終息を願います。

議会広報委員 飯田 大